

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 委員総会(議事概要メモ)

1. 日 時:令和4年6月17日(金) 16時15分~16時42分
2. 場 所:大阪市役所 屋上階 P1 会議室
3. 出席者:【会長】吉村 洋文(大阪府知事)
【会長代行】松井 一郎(大阪市長)
【監事】白井 弘(白井公認会計士事務所公認会計士)、川下 清(梅田総合法律事務所弁護士)
【委員】
大阪府、大阪市
公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会
(協賛企業) ※ 50 音順
株式会社あきんどスシロー、株式会社池田泉州銀行、株式会社カプコン
小林製薬株式会社、株式会社サイエンス、公益社団法人全日本不動産協会
大日本印刷株式会社、タカラベルモント株式会社、TIS株式会社、東京書籍株式会社
日本生命保険相互会社、パナソニックホールディングス株式会社、株式会社ファーマフーズ
株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ、株式会社ミルボン、森永乳業株式会社
株式会社りそな銀行、ロート製薬株式会社、六甲バター株式会社、株式会社わかさ生活
(協力機関) ※ 50 音順
公益財団法人大阪観光局、大阪工業大学、一般財団法人大阪国際経済振興センター、
地方独立行政法人大阪産業技術研究所、公益財団法人大阪産業局、大阪大学、
大阪府中小企業団体中央会、関西大学、近畿大学、大阪公立大学、森ノ宮医療大学、
立命館大学
【総合プロデューサー】森下 竜一(大阪大学大学院 医学系研究科 寄附講座教授)
4. 議 事:議案 委員会規約の改正、協賛金規約の改正、物品等協賛規約の制定
報告事項 2022 年度収支予算の修正

5. 議事概要

【事務局】

ただいまから、2025 年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催いたします。私は、大阪府・大阪市万博推進局の清水でございます。よろしくお願いいたします。

本日の出席者ですけども、お配りしております参考資料の通り推進委員会役員の皆様、推進委員会の委員の関西経済連合会、大阪商工会議所、関西経済同友会、協賛企業各社、協力機関の皆様、また今日は森下総合プロデューサーにご参加いただいております。本総会が、定足数が上回る委員にご出席いただき、有効に成立していることを御報告させていただきます。ここから、推進委員会会長の吉村知事に議長として進行いただきます。知事よろしくお願いいたします。

【吉村会長】

本日はご多忙のところお集まりいただきましてありがとうございます。大阪パビリオンについては、今年の3月に出展基本計画を策定しました。いよいよ具体的な展示内容の検討や、建築の推進、まさに実施

に向けた取り組みを進める段階に入ってきたところです。

後ほどご紹介をさせていただきますが、今日は新たに4社の企業様が推進会に参画いただくことになりました。9社の出展が決定したということをご報告させていただきます。また、建築や展示の実行業務を行う社団法人の設立について説明をさせていただきます。そして、建築の基本設計が完了しまして、外観のイメージが出来上がりましたので、それをご覧いただく予定としています。様々な委員の皆様のご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入る前に、今回から新たに推進委員会委員としてご参画いただき、協賛企業の皆様の紹介を事務局からお願いします。

【事務局】

今回新たに推進委員会にご参画いただきます企業の皆様を五十音順でご紹介させていただきます。資料9をご覧ください。本来ですと、1社ずつご挨拶を賜りたいところですが、時間の都合上、社名の読み上げに変えさせていただきますことをご容赦ください。

株式会社カプコン様、東京書籍株式会社様、株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ様、六甲バター株式会社様。以上4社でございます。

それでは議事に入りたいと思います。議案1委員会規約の改正及び議案2協賛金規約の改正について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

私は大阪府・大阪市万博推進局の後藤と申します。私の方から、議案1委員会での改正及び議案2協賛金規約の改正の件について説明をさせていただきます。3月のこの総会で申し上げました通り、大阪パビリオン出展基本計画の具体化に向けまして、法人格を有する実行体制を構築するために、予定通り来月7月に一般社団法人を設立する運びとなりました。本議案につきましては、法人設立に伴うものでございますので、議案の説明に入る前にまず、新たに設立いたします法人の概要について説明をさせていただきます。

資料1をご覧ください。法人名は一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオンといたしまして、設立目的は、大阪パビリオンの建設、展示、運営、資金管理等の業務を行うこととしております。また、設立時期につきましては、7月1日を予定しておりまして、設立社員は大阪府、大阪市といたしました。市長のほか、府市万博推進局職員の2名が、設立時理事となります。設立時監事は、白井先生と川下先生にお願いをしております。事務所は府市万博推進局の隣に開設いたします。事業費につきましては、大阪府大阪市の分担金その他、民間資金である協賛金及び寄付金で賄ってまいります。万博終了後、建物などの残余財産につきましては、法人の紹介する地方公共団体である大阪府及び大阪市に贈与することといたします。設立後は資料記載の通りの組織体制を構築してまいります。

ご就任いただく予定でございます社員と役員等につきましてご紹介をさせていただきます。資料裏面をご覧ください。社員につきましては、大阪府市のほか、経済団体からは、大阪商工会議所様に協賛企業からは、株式会社サイエンス様などにご参画いただく予定となっております。続きまして、理事につきましては、設立時理事に加えまして、推進委員会協力機関から、公立大学法人大阪の西澤理事長様、協賛企業から株式会社サイエンス青山取締役会長様にご就任いただく予定です。また、顧問につきましては、大阪商

工会議所の尾崎顧問様にご就任いただく予定です。法人の設立の概要につきましては以上です。法人の詳細につきましては、資料 4 の定款をご参照願います。なお、本推進委員会は、法人設立後も引き続きパビリオンの出展主体として進捗管理を行ってまいります。

それでは議案 1 委員会規約の改正についてご説明いたします。資料 2 をご覧ください。法人設立に伴いまして、推進委員会と法人の役割分担を明確にするため、新たに項を設けるなどの改正を行うものでございます。

続きまして議案に協賛金規約の改正についてご説明いたします。資料 3 をご覧ください。法人設立に伴いまして、法人が協賛金をもとに事業を遂行できるよう改正するものでございます。説明は以上です。

【知事】

ありがとうございます。続きまして、議案 3 物品等協賛規約の制定について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

引き続きまして説明をさせていただきます。議案 3 物品等協賛規約の制定の件につきまして、説明をさせていただきます。資料 5 をご覧ください。建材、設備、備品などの提供によります協賛の取り扱いにつきまして、必要な事項を規約として定めるものでございます。物品等の審査や提供などの提供などを定める内容となっております。説明は以上です。

【知事】

ありがとうございます。最後に報告事項について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

引き続き、報告事項 2022 年度収支予算の修正についてご説明を申し上げます。資料 6 をご覧ください。法人の設立に伴いまして、法人が継承して行う事業の収入および支出を推進委員会から移管するために、収支予算を修正するものです。協賛金収入を 6 月末時点に修正した上で法人に移管するとともに、実施設計費 CM 事業費を法人に移管することとしております。

続きまして、その他の報告をさせていただきます。この度、大阪パビリオンの建築基本設計が終了しましたので、その概要、外観についてご説明させていただきます。資料 7 をご覧ください。大阪パビリオンは、東側のエントランスから入って右手に位置する多くの来館者が訪れやすい位置となっております。開催都市のパビリオンとして世界各国からの来館者を迎えるにふさわしい新たなランドマークとなる建築をいたします。各展示エリアをゆるやかなスロープによって連続させ、ひとつながりの回遊性を満たすなど、ユニバーサルデザインを積極的に進めています。また、ライブ空間は自然光が零れ落ち、風を感じ、屋根を流れる水がまるで水の中にいるような幻想的な空間を演出し、光、風、水に包まれた環境共生建築を体験いただける計画としています。ここで建物のイメージ動画がございますのでご覧ください。

このように、大阪パビリオンの外観も決まってまいりましたところで、このイメージに合った名称をつけてまいりたいと考えております。決め方につきましては、ご異議がなければ、会長代行、森下総合プロデューサーで協議をして決めていただこうと考えておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、来月には公表できますように進めてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に資料 8 をご覧ください。企業団体の協賛による出展は、審査会を経て決定することとしておりまして、去る 5 月 30 日と 6 月 2 日の 2 日に渡りまして、第 2 回の出展審査会を開催し、大阪パビリオンの協賛出展者が決定しましたので、ご報告いたします。

株式会社カプコン様、小林製菓株式会社様、公益社団法人全日本不動産協会様、タカラベルモント株式会社、TIS株式会社様、東京書籍株式会社様、株式会社フラット・フィールド・オペレーションズ様、六甲バター株式会社様、株式会社わかさ生活様の 9 社でございます。

これらの企業団体からの協賛と大阪市パビリオン基金への寄付金とあわせまして、現時点における民間によるパビリオン出展の財源は 80 億円となりました。今後も引き続き協賛出展いただく企業団体を募りながら、出展審査会を随時開催いたしまして、協賛出展社様を決定してまいります。報告は以上です。よろしくお願いいたします。

【知事】

大阪パビリオンの外観について概要を報告させていただきました。光と屋根から水が流れるということで、光や水、風、そういったものに包まれた幻想的な空間がおりなす本当に特徴的なところになるだろうと期待をしております。森下総合プロデューサーからコメントがありましたら、よろしくお願いいたします。

【森下総合プロデューサー】

先ほども知事の方からお話ありましたように、非常に外観も特徴的と言いますか、綺麗ですし、SDGs を非常によく意識した設計だと思います。大阪らしからぬと言うと怒られそうですが、クール大阪な建物になるのではと、大変期待しております。

また、協賛金についても、80 億ということで目標まで達成したということで大変安心しておりますが、まだまだ大阪パビリオンにご興味を持っている企業もいらっしゃいますので、是非とも、こうした企業と一緒に作っていきたいと思っています。

【吉村会長】

ありがとうございます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、これから議題及び報告事項に対しましてご意見を頂戴いたしたいと思います。それでは、まず松井会長代行からお願いします。

【松井会長代行】

事務局から説明がありましたが、7 月には実行法人が設立し、建築や展示を本格的に進めていく、そういうフェーズに入りました。また、私も法人の代表理事として、皆さんと力を合わせながらスピード感を持って進めてまいりたいと思っていますので、引き続きご協力をお願いします。

また、建物の外観イメージも話が出ました。森下先生からも、大阪らしくないんじゃないのって言われましたが、お好み焼きみたいなコテコテ感があるようなことはもうちょっと時代とは違います。大阪らしく、世界の先端のイメージ、また世界で一番の健康都市大阪を目指していくわけですから、素晴らしい外観イメージが今日発表されたんではないかなと思っています。

また、このパビリオンの名称も、知事や森下プロデューサーといろいろと協議をして、皆さんからのいろ

んなお力を借りながら、決めていきたいと思っております。

また、協賛企業の皆さん本当にありがとうございます。当時、計画している段階で、総工費が代替 160 億の中で、民間と行政が一对一で負担するというので、お互いが対等の立場で協力しあおうという目標の中での数字でした。今の時点で約民間 80 億という協賛金が示されており、さらに民間の皆さんから、「一緒に参加しましょう」という思いも届いております。民間の皆様の万博にかける熱意の表れだととらえています。すごく感謝していますし、我々行政側も民間の思いと同等の熱い思いを持って、これから事業を進めるように、事務方の皆さんもそういう思いで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

【吉村会長】

松井会長代行ありがとうございます。民間の皆さんから本当に多くのご寄付をいただき、また参加の意思を表示していただきまして、行政と民間でこの大阪パビリオンを進めていきたいと思ひます。また 7 月 1 日から、実行法人が出来上がります。実行法人の代表は松井会長代行ということになりますので、よろしくお願ひします。それでは次に、関西経済連合会の松本会長からご意見お願ひします。

【松本会長】

かしこまりました。大阪パビリオンにつきまして、関係者の御尽力によって、出展企業も順調に出ていると伺いました。この度、実行組織として、一般社団法人 2025 年日本国際博覧会大阪パビリオンが設立されることは、いよいよパビリオン建設に向けた動きが本格化するものと、大変喜ばしく思っております。

パビリオンの外観の説明がございましたが、基本設計を経て、大変ユニークで素晴らしいものになったと感じておりました。私も見ましてびっくりしました。内部の動線につきましても、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れられるとのこと、多様な来場者への配慮がなされていると思ひます。また XRシアターを導入したエンターテインメント棟の建設など、若い方々にも魅力のあるコンテンツが検討されておりました。万博会場のランドマークとして、非常に注目されるパビリオンになるものと期待します。

またマーケットサウンドも行いながら、パビリオンの一部をレガシーとして残す方針と伺っております。万博の精神を後世に繋いでいくためには、ハードを残すだけでなく、これを活用し、万博で実証される技術を実装する拠点、そして官民・アカデミアが連携してイノベーションを起こしていく仕組みをつくっていくことなどが、重要であると考えます。こうした点も今から検討していく必要があるでしょう。関経連でも今年、万博のレガシーについて検討を深めていきますので、大阪府、大阪市の皆さんとともに議論をさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。以上です。

【吉村会長】

松本会長ありがとうございます官民との連携が非常に重要だというご意見も頂戴いたしました。今後ともよろしくお願ひをいたします。次に大阪商工会議所の鳥井会頭お願ひいたします。

【鳥井会頭】

大阪商工会議所の鳥井でございます。初めて委員総会に参加をさせていただきますがどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

大阪府パビリオンは素晴らしい外観イメージを先ほど拝見しました。まさにSDGsの時代にふさわしい

く、大阪の顔、あるいは日本の顔になる重要な役割があると思いました。商工会議所も地元経済団体の代表として、引き続きしっかりと取り組んで参りたいと思っております。

二つございます。一つは現物協賛に関してでございます。大阪パビリオンの建築材料や設備や技術は、現物協賛を募るということでございます。今回の現物協賛に関しましては、多額の協賛金の拠出が難しい中小企業にとりましては、協力できる仕組みになっておりまして、オール大阪で取り組む大阪パビリオンにふさわしいものと感じております。大阪商工会議所におきましても、大阪産業局と共催で、現物協賛に関する企業説明会を6月29日にオンラインで開催することを計画しています。

二つ目でございます。大阪パビリオンの展示出展ゾーンに関することでございます。大阪商工会議所と大阪産業局では、大阪パビリオンの中小企業、スタートアップ展示出展ゾーンに出展を希望する事業企画案の募集を5月9日から始めております。5月18日には説明会を開催し、オンラインを含めまして、171名に参加をいただきました。募集期間は8月31日まででございますが、かなり熱の入った応募があるのではないかと期待をしているところでございます。大阪は1970年の万博があり、これを契機に事業を成長させ発展させた企業が多くあり、万博に対する関心や思い入れは相当強いものがあると実感しています。以上でございます。

【吉村会長】

鳥井会頭ありがとうございます。現物協賛についても規約を定めました。その可能性が非常に中小企業に大きいということですので、ご協力をよろしくお願い致します。

展示出展ゾーンにつきましては、商工会議所と大阪産業局中心になりまして、中小企業の皆さん、そして新しい技術やサービス、産業イノベーションを生み出そうという意欲のある、とんがった起業家の皆さんが活躍できる場面でありたいと思っておりますので、リーダーシップのほどよろしくお願い致します。それでは、関西経済同友会生駒代表幹事からよろしくお願い致します。

【生駒代表幹事】

ありがとうございます。皆様こんにちは。大変お疲れさまでございます。生駒でございます。本日のご説明ありがとうございます。

パビリオンの概要が明らかになり、いよいよ本格的に準備が加速してきていることを実感できました。展示内容につきましても構想に基づき、今後準備が進められていくと思っております。先ほど森下先生もおっしゃっていましたが、これからは時間との勝負になると思っております。大阪を中心に多くの方の知見がパビリオン建設や展示に反映されることを期待しております。

関西経済同友会では、これまでに引き続き、万博の機運を盛り上げるため、大阪・関西EXPO委員会を中心に活動しております。日本全体の機運が今ひとつ盛り上がっていない状況を受けて、我々も様々な機運醸成策を考えております。全国44の同友会に対しても、関西発で協力を呼びかけていきたいと思っております。大阪パビリオンのご関係の皆様におかれましては、パビリオンの準備に大変お忙しいとは思いますが、並行して大阪パビリオンの魅力、大阪の万博の魅力を発信していただき、機運醸成に繋げていただければと思います。我々も同友会一致団結して頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひともよろしくお願い致します。以上です。

【吉村会長】

生駒代表幹事ありがとうございます。時間との勝負というのはもうおっしゃる通りであります。7月1日から、現実に実行する法人を立ち上げて進めてまいりたいと思います。また、全国的な発信、機運醸成についても非常に重要であり、もうまもなく1000日前にも近づこうかという時期でもあります。関西経済同友会の皆さんと一緒に、この機運醸成をやってまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

他は何か、ご意見ありますか他にいらっしゃいますでしょうか。

それでは、最後に私からも一言コメントさせていただきたいと思います。本日皆様から本当に貴重なご意見いただきまして、ありがとうございます。今後の建築展示等の具体的な業務、実務業務について移っていくこととなります。法人を設立して進めていきます。松井会長代行・大阪市長には法人の代表理事という重責を担っていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、今日この大阪パビリオンの外観を公表するということとなりました。光や風、水に包まれた非常に幻想的で、ユニークなこの外観が出来上がったと思います。中身は未来のモビリティだったり、未来の食であったり、未来のエンタメ、未来の医療ですが、我々2025年の人間が2050年の大阪に紛れ込んだらどうなるのか、まさに体験型のわくわくするような大阪パビリオンを作っていきたいと思いますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。引き続き、森下総合プロデューサーにおかれましては、よろしくお願いいたします。

それでは、これから議案1委員会規約の改正、議案2協賛金規約の改正及び議案3物品等協賛規約の制定について採決をいたします。お諮りいたします。本議案はこれを承認することにご異議ありませんでしょうか。

【一同】

異議なし。

【吉村会長】

ありがとうございます。異議なしと認めます。よって、議案1、議案2及び議案3は、これを承認することに決定いたしました。皆様、本日は大変お忙しい中ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。それでは、事務局にお返しします。

【事務局】

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして本日の委員総会を閉会いたします。どうもありがとうございました。